

むつ市議会だより

！議会だより工事中！



絵：甘い夏 / 辻 凛乃さん
(青森県立田名部高等学校 2年生 美術部)

使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会

安全協定締結に向け議論！！

市・事業者・国の各機関から意見聴取を実施 P2~3

一般質問 P6~9
15の視点

NEW TOPICS 裏表紙

市民の声 広報広聴委員会
市民に直接取材

詳しく知りたいむつ市議会
(公式ホームページ)



安全協定締結に向け 市・事業者・国の各機関から意見聴取

激論



◎ 使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会

安全協定

● 市長の思いは？

問 紆余曲折を経て、安全協定を締結する場面まで事業進捗が図られたことに対する市長の所感を伺う。

市 市民の皆様には、事業に対する正しい理解を深めていただき、不安を取り除く取組を丁寧を実施する観点から県民説明会に加えて市独自で追加となる3回の市民説明会を事業者及び市によって実施することとしている。また、市民の皆様からのご意見を真摯に受け止め、必要に応じて協定書に反映することも検討していきたいと考えている。

● 立会人の役割は？

問 安全協定における立会人の役割は。

リ 協定書に規定する立会人とは、弊社が安全協定の各項目を遵守するよう、指導、助言する等、事業の協力を行うものと認識している。

● 周辺自治体との関わりは？

問 安全協定書(案)のタイトルに「周辺地域」と記載されているが、これはむつ市の隣接の自治体、例えばRFSに近い東通村も含まれるという解釈でよろしいか。

リ 本事業が成功し、他地域にその成果が展開されることは、我が国の使用済燃料対策、そしてエネルギー政策の発展に大きく貢献する非常に意義深いことであると認識している。協定締結に向けては、事業開始のスケジュールありきではなく、市民の皆様の事業に対する理解醸成、不安の払拭というものを第一義として、進めていくこととしたい。

安全対策

● 避難計画の必要性は？

問 市としてのリスク想定及び避難計画の必要性はどのように考えているのか。

市 金属キャスクは衝突等が万一発生した場合においても、基本的な安全機能は維持されることにより、放射性物質等の放出を伴う事象が発生する可能性は極めて低い施設であることから、原子力災害対策重点区域の設定を要しない施設に区分されている。また、安全協定の中で事業者からの報告聴取や立入調査、措置の要求の権限を市が有することを定めることとしているため、そうした取組により安全性の確保を求めている。

● 施設の耐震性は？

問 中間貯蔵施設の耐震性は。

規 活断層調査の結果等を踏まえて最大加速度約700g(周期0.002秒)と設定されている。東北地方太平洋沖地震の規模であるM9クラスのプレート間地震も考慮している。

● 訓練の必要性は？

問 施設の安全性を確保するための訓練の重要性、県との連携についての方針は。

リ 地震、津波、火災、設備トラブル等を想定した訓練を定期的を実施している。その中で、市への連絡を模擬した訓練も行っている。今後も計画的に実施していく。

搬出先

● 搬出先はどうなる？

問 備蓄センターからの搬出とは、むつ市外への搬出という理解でよいか。

リ 搬入された使用済燃料は、貯蔵期間の終了までに、搬出時に稼働している再処理工場に搬出し、再処理することになると認識している。

問 六ヶ所再処理工場が搬出先となる可能性はあるのか。

工 搬出時に六ヶ所再処理工場が稼働している場合は、同施設が搬出先となる可能性がある。

● 再処理工場がない場合は？

問 搬出時に国内で再処理工場がない場合はどうなるか。

工 核燃料サイクルを推進することが我が国の基本方針であり、国内の再処理工場の竣工実現に向けてしっかりと取組を進めていく。

地域振興

● 事業者の地域貢献とは？

問 納税を通じた地域貢献への思いは。

リ 新税が中間貯蔵施設の立地・運営に伴い発生する財政需要に計画的かつ効率的に充当され、市民の皆様の安全・安心の向上並びに地域と施設の共生が図られることを希望する。

● 税収の試算は？

問 事業開始するに当たり建屋の分、金属キャスクの分の固定資産税収入、そして、それに使用済燃料税の税収を加えた場合の当面の税収の試算について伺う。

市 償却資産として申告が想定されるキャスクは、貯蔵計画で示されている2024年度から2026年度の3年間に搬入され、取得価格を2億5千万円、税法上の耐用年数を15年と仮定し試算した場合、2025年度から2027年の3年間で3650万円と見込んでいる。使用済燃料税は、貯蔵開始を2024年7月で試算した場合、2026年度までで7254万円と見込んでいる。

今後の事業計画

● 今後の貯蔵計画は？

問 当初説明を受けて了承した将来的な貯蔵計画及び2棟目の建設計画について、現状、どのように検討されているのか。

リ 使用済燃料の発生状況は、立地をお願いした時から変化していることは事実である。5000トン展望した中長期的な計画についても、キャスクの調達見通しや使用済燃料に関わる発電所の運用方針など必要な検討を進め、まとめ次第、適切な時期にお示ししたいと考えている。2棟目の建設時期等については、1棟目の事業開始後の搬入状況などを踏まえて計画していくことを考えている。

● 再処理施設との整合性は？

問 再処理施設と中間貯蔵施設の事業進捗の整合性についての見解は。

工 貯蔵期間は最大50年とすること、貯蔵期間が満了するまでに全ての搬出を終えることから、国の基本方針である核燃料サイクルの推進とも整合的に考えている。

ズームイン!!!」

Zoom 1

報告第9号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて

(むつ市税の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例)

税金がまた増えるの？

森林環境税の賦課徴収に伴うもの

問 市税にプラスしての徴収になるのか。

答 市民税及び県民税等を8期で徴収しているが、これに森林環境税が加わることになる。

問 非課税世帯はどうなるのか。

答 住民税の均等割が課税されている方は課税。非課税の方は森林環境税も非課税になる。



墓地公園内の4棟のトイレが解体され、新たに1棟が新築される。



トイレカーのイメージ

Zoom 2

報告第12号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて

(むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

どうなる国民健康保険税

低所得者に対する

軽減措置を拡充

問 改正による市民への納税額の影響は？

答 納税額が増額となる対象世帯数は109世帯で市全体での増額総額は193万7900円である。また納税額が減額となる対象世帯は、70世帯で市全体での減額総額は158万7400円となる。

令和6年度むつ市一般会計補正予算(議案第52号)

ユニバーサルトイレ設置

墓地公園トイレ改修事業費

9701万1000円

問 スケジュールとトイレの仕様は？

答 議案成立後に契約手続きに入り、契約締結後、設計、解体、施工と年度内に事業を完了予定。男性用は、大が1基・小が2基、女性用は2基、ユニバーサルトイレが1基ですべて洋式トイレを計画している。

「洋式」に変わる

公衆トイレ

むつ運動公園改修事業費

1200万円

この議案でむつ市の何が変わるのか。 「注目の議案に

Zoom 3

報告第7号 専決処分した事項の報告について(工事請負契約の一部変更契約について)

夜景も大事だけど・・・

むつ市防災情報伝達手段整備事業の工事内容の変更
5227万4200円増額

問 工事内容が変更になった理由は。

答 釜臥山展望台での中継局移設設置場所の変更で、理由はアンテナが夜景の眺望に影響をきたすためである。

問 アンテナが夜景の眺望に支障をきたすことは予見できなかったのか。

答 電波上、最も適した場所だったが、指摘を受けて変更することとなった。NTT回線から光回線へ変更することで年220万円のコストダウンが可能になった。



トイレカー内のイメージ



洋式化される運動公園のトイレ

Zoom 4

問 事業の詳細と積算根拠は？

答 既存の和式便器を「洋式化」する工事内容となっており、工事費の積算根拠については、他事業の実績、資材高騰、労務単価の上昇等踏まえ算出している。

災害時に対応する

移動式トイレ

移動式トイレ「トイレカー」

整備事業費

4700万2000円

問 「トイレカー」の維持管理費は？

答 災害発生時の運用経費が基本的に、国からの財政援助の対象となっており、それ以外の一般的な経費として、燃料費・車検登録などの法廷費用等が発生することとなる。具体的な維持管理経費の見込みは、運用形態の決定後に明らかになるものと考えている。

問 日頃の維持管理は、市役所本庁舎で一括で管理するのか。

答 現在、トイレカーを5台(うち1台はユニバーサル対応)整備する予定であり、道路の寸断等があった場合も対応できるよう各庁舎に分散して配備できるよう検討しており、各庁舎において維持管理することを考えている。



防災行政用無線

※ここに掲載していない議案も含め、各議案の議決結果は10ページをご覧ください。

一般質問 15の視点

ホームページでは一般質問を音声でお聴きいただけます



議員から独自の視点で
質問・提案する一般質問。
今回は15人が登壇。

早掛沼公園桜満開	子育て教育無償化	P.6	P.8
自衛隊の組織改編	中間貯蔵施設	P.6	P.8
死者数6300人	地熱発電	P.6	P.8
どうなの市営住宅	教育研修センター	P.7	P.9
長生きも大変だ	JR大湊線	P.7	P.9
デジタル化対策	風力発電	P.7	P.9
レスパイト事業	中間テスト減る?	P.7	P.9
介護保険事業		P.8	

(公明・自由)
住吉年広 議員が問う

早掛沼公園桜満開



問 桜満開を目指すための
具体的計画と決意を伺う。
答 昨冬は過去10年で最多と
なる1423羽のウソ飛来を
確認し「8割の花芽が食べら
れた」被害に遭っても一定程
度の花芽を確保する狙いで対
策を実施してきましたが、今
後は、テグスや網を設置して
花芽を保護するほか、追い払
い作業員を増やすなどの新し
い対策を講じ、来年度は今年
の分まで楽しんでいけるよう
に取り組んでまいります。



問 HPVワクチン接種促進
の取組は。
答 市では、接種対象者とな
る方に個別通知をしている。
その中にHPVワクチンの効
果や副反応及び相談窓口等を
記載したリーフレットも同封
しているこ
とから、情
報提供がで
きていても
の認識し
ています。

(市誠クラブ)
野中貴健 議員が問う

死者数6300人



問 日本海溝・千島海溝周
辺海溝型地震等の大規模災害
時のむつ市の被害想定は。
答 冬の深夜の時間帯で
災害が起きた場合、死者
数6300人、負傷者数
1万900人、建物被害では
全壊棟数9千600棟、避難
者数は最大3万人と想定。
想定死者数の9割以上が
津波による被害と想定してい
るが、地震発生後に速やかに
避難を開始すれば、死者数は
約7割から8割は減少すると
されている。



問 ホテル等の二次避難所
は確保しているか。
答 むつ市では現時点で二
次的避難に関する計画はな
いが、指定の一次避難所98
か所の合計収容可能人数は、
2万1570人であることが
ら、大規模災害時の避難所の
確保が課題となる。

(陸奥未来)
佐々木隆徳 議員が問う

自衛隊の組織改編



問 自衛隊法改正により、
海上自衛隊大湊地方隊はどの
様に組織改編されるのか伺
う。
答 今年度末で横須賀地方
隊に統合となり、大湊地区隊
に編成され、大湊を拠点とし
ている護衛艦は現在の7隻か
ら1隻追加されて8隻体制と
なる予定である。
定員規模は令和6年度末
で現在より30人程度増員さ
れ、約2930人の予定と
なっており又、大湊地方総監
が大湊地区総監に変わるもの

の、これまで同様、海将が配
置されることになっている。
問 大湊地方隊の組織改編
によりむつ市への経済的影響
は。
答 大湊地区隊として定員
規模と体制が維持される事か
ら、経済的影響はほとんどな
いものと考えているが、これ
まで同様、「地元発注等への
更なる配慮」について、関係
団体と協力しながら、継続し
て要望活動を実施していく。



(自民クラブ) 浅利竹二郎 議員が問う

長生きも大変だ

問 高齢化時代の課題の一つにお墓の問題がある。家族ごとにお墓を持つことが困難な現代において、『合葬墓』を望む声が高まっている社会的背景を理解しているか。

答 アンケート調査(985人)によれば、「必要だと思つた」または、「どちらかと言えば必要だと思つた」が、合わせて84%の結果である。関係機関と調整しながら、整備に向けて検討する。

問 入院・施設入所等に必要な保証人確保が困難な、身よりなき高齢者等への救済は。

答 厚生労働省では身元保証人がいないことを理由に、入院や入所を拒否しないよう都道府県に指導を行うよう通知している。市では高齢者の総合窓口地域包括支援センターが中心となり対応している。



(公明・自由) 櫻田秀夫 議員が問う

どうなの市営住宅

問 市営住宅の利用状況は。

答 令和6年6月1日現在、市営住宅19団地のうち、14団地349戸となり、そのうち328戸が入居しており入居率は94%で、5年前の87%に比べると、増加傾向にある。

問 大畑(外山団地)・脇野沢(桂沢団地)の整備計画は。

答 むつ市公営住宅長寿命化計画で当面維持管理に努めるとあり、現時点で整備計画等はないが、老朽化が進んでいる現状を考慮し、令和8年度に改訂予定の次期計画において

て具体的な整備計画を検討していく。

問 解体後の跡地の利用は。

答 市の事業として有効活用できるか検討し、「市有財産利活用民間提案制度を活用し、ご要望があれば、市民の皆様または、民間事業者への貸付や売却を行うなど、市有財産の管理に努めております。



(自民クラブ) 井田茂樹 議員が問う

レスパイト事業

問 医療的ケア児個別避難訓練計画作成、避難訓練は実施されているのか。

答 むつ市避難支援プランで対応してきたが、情報不足の指摘を受け本年度より適切な個別避難計画を作成し、実施方法については支援事業所等機関と協議したいと考えている。



問 医療的ケア児の保護者等のサポート体制についてどう。

答 医療的ケア児に対応できる短期入所施設がむつ市には無いが休息をとりやすくするレスパイト事業を秋ごろの実施を目指し検討中。本事業は医療的ケア児の家族が一時的に介助から離れる必要がある場合などに利用できる事業で、保険適用外のため費用の一部を市が負担する制度である。



(市誠クラブ) 東健而 議員が問う

デジタル化対策

問 デジタル化への対応について、保険証が12月2日ですべてなくなるが、マイナンバーカードとスマホの使用できない市民対策について考えを伺う。

答 マイナンバーカードを利用出来ない人には保険証の変わりに資格確認書を送付し、スマホ使用については、スマホを持っていても使えない市民が多く、対策として、市では無料のスマホセミナーを5月から来年3月まで、むつ市全域で開催を計画

し、使い方の周知を図っている。

問 マイナンバーカード機能のスマホへの搭載と、今後の利用範囲について伺う。

答 国では今年度中に運転免許証とマイナンバーカードを一体化する予定で、国家資格のデジタル化にも取り組む。また市では、現在公的個人認証を利用したアプリ、「むちゅば」や「むつ市高齢者無料乗車証AGGHA」のデジタル化に今後も取り組んでまいります。



(無会派) 高橋征志 議員が問う

子育て教育無償化

- 問** 中学生の挑戦を後押しするため、英語検定受験料を半額補助から全額補助にしては。
- 答** 利用者の推移を踏まえながら、今後検討する。
- 問** 障がい児の福祉サービスの利用者負担を無償化した自治体もあるが、むつ市では。
- 答** 無償化については、他自治体の例を参考に研究する。
- 問** 中間貯蔵施設で事故が発生した場合の学校等の対応は。
- 答** 中間貯蔵施設で採用枠を設け、今年度1名を採用している。雇用が足りない状況があり、法定雇用率である2.6を下回っている。今後、障がい者支援センターやハローワーク等と連携強化していく。
- 問** 関係機関との連絡体制確立や引き渡し訓練等により、安全確保に努めている。緊急時は、保育所や幼稚園へも速やかに情報伝達を行う。
- 問** 「原子炉等規制法は、使用済燃料が永久貯蔵されない15年当時の解釈は今も変わっていないか。
- 答** 解釈に変わりはない。同法を根拠とした事業許可により、50年後の確実な搬出が法制上担保されている。



(無会派) 工藤祥子 議員が問う

介護保険事業

- 問** 介護施設等の入所待機者数とその解消について問う。
- 答** 令和5年10月1日現在の調査では228名。令和4年の二入調査では「介護保険施設の数が増やさなくてもよいから、介護保険料の額を安くしてほしい」が35%と最も多い。在宅サービスの利用に重点を置きたいと考えている。
- 問** 介護保険料減免要件は。
- 答** 第1号保険者（65才以上）が、震災、風水害、火災等の災害、長期入院、失業等で収入が著しく減少した場合である。
- 問** むつ市役所の障がい者法定雇用率が未達成で勧告を受けた。雇用の先頭に立つべき。
- 答** 職員採用試験で採用枠を設け、今年度1名を採用した。雇用が足りない状況があり、法定雇用率である2.6を下回っている。今後、障がい者支援センターやハローワーク等と連携強化していく。

(市誠クラブ) 佐賀英生 議員が問う

地熱発電

- 問** 燧岳（ひうちだけ）周辺の地熱発電の現況は。
- 答** 地熱発電事業は、令和2年度に1号井、令和4年度には2号井の試掘調査を実施し、発電に必要な蒸気量や特性を調査する短期噴気試験を実施したが、酸性の蒸気が確認されている。令和5年度は引き続き調査したが、酸性蒸気のほか亀裂の透水性が十分でなく、いずれも酸性が確認されている。



(無会派) 佐藤武 議員が問う

中間貯蔵施設

- 問** 中間貯蔵が最終処分場になるのではないかと不安。
- 答** エネルギー基本計画で再処理やプルサーマルを推進し、2030年までに少なくとも12基でプルサーマルを実施する目標に向け努力するとしている。
- 問** 最終処分場にならない保証はあるのか。
- 答** 立地協定と安全協定で貯蔵期間が明記され、事業者の強い意志が表明されている。搬出先の明確化や確実な搬出に関する文言の記載、明確化を求めていく。
- 問** 搬出先は、「その時稼働している再処理工場」で、「六ヶ所再処理工場の可能性もある」とのことだが、「可能性」こそ予測ではないか。
- 答** 搬出先の議論の本質は、「使用済燃料の全量再処理は国の方針である」ということで、一貫した確固たる国のエネルギー政策の根幹だ。





(無会派) 杉浦弘樹 議員が問う

J R 大湊線

JR津軽線の廃線におけるJR大湊線への影響と、住民アンケート実施の結果を受けて、活性化協議会ではどういった議論をしていくのか。また、議論の公開はしていくのか。

答 市では、災害から始まり、復旧費用が負担となるから廃止という流れは望ましいものではないと考えており、地方ローカル線の在り方については、各路線で特徴が異なるものと考えており、今回の廃線が直接影響を与えるもの

協議会における議論は、HPで公開していく。



(市誠クラブ) 佐藤広政 議員が問う

教育研修センター

むつ市教育研修センターの役割と建て替えは考えているのか。

答 主に、むつ市を含む下北地区の教員の研修及び教育相談の2つの業務を行っております。昨年度の実績としては、教員の研修では14の講座を開催し、延べ345人が受講。児童生徒や保護者を対象にした教育相談が53件、不登校児童生徒を対象にした適応指導が延べ747人でした。

むつ市教育研修センターの老朽化に伴い、教育委員会において、施設の移転や建て替えを検討していると報告を受けており、市としても、児童生徒が安心して活動できるように、代替施設の確保または建て替えを含め、教育委員会とともに取り組んでまいります。



(自民クラブ) 中村正志 議員が問う

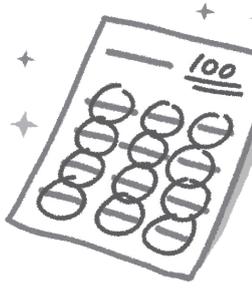
中間テスト減る?

市内各中学校の定期テストについて、現状はどうなっているのか。

答 現在、全9校中7校が年4回、2校が2学期中間テストを廃止した年3回で実施している。

問 定期テストの回数は各学校に任せているのか、回数を減らした理由は。

答 定期テストは学習内容の定着を図る教育活動の一環であり、その在り方は各校が主体的に定めることとしている。回数についても、各校が



(無会派) 濱田栄子 議員が問う

風力発電

佐井村及び大畑薬田地区(国定公園)内における大規模風力発電計画について伺います。

答 風力発電の導入促進は、政府一丸となり取り組むべき課題である一方、風力発電設備の設置場所や規格によっては、自衛隊のレーダー等に障害を及ぼすおそれがあるため、防衛省では事業者に対して計画策定の初期段階で相談を要請しているとのことです。

生態系・自然環境・生活へ与える影響等については、調査や予測、評価を行う環境アセスメントが実施され、その結果を反映した環境影響評価準備書が作成された後、再度縦覧や意見書の受付が実施されます。検討されている区域は、国有林であり水源の涵養保安林に指定されている。下北森林管理署と意見交換を通じ森林の多面的機能が損なわれないよう訴えていきます。

ここでおさえる！ 6月定例会の議決結果

議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし

議案番号	件名	審議結果
44	むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎
45	むつ市都市公園条例の一部を改正する条例	◎
46	むつ市下水道条例の一部を改正する条例	◎
47	工事請負契約について (第80回国民スポーツ大会セーリング競技艇置場整備工事に係る工事請負契約を締結するためのもの)	◎
48	工事請負契約について (下北文化会館空気調和設備改修工事に係る工事請負契約を締結するためのもの)	◎
49	青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
50	むつ市過疎地域持続的発展計画の変更について	◎
51	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	◎
52	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎
53	財産の取得について (夏季における児童生徒の熱中症による健康被害の防止及び教育環境の向上を図るため、市内小中学校に冷房設備を配備するもの)	◎
54	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎

議案番号	件名	審議結果
報4	令和5年度むつ市一般会計継続費繰越計算書	－
報5	令和5年度むつ市一般会計事故繰越し繰越計算書	－
報6	令和5年度むつ市一般会計事故繰越し繰越計算書	－
報7	専決処分した事項の報告について (工事請負契約の一部変更契約について)	－
報8	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報9	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市税の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報10	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和5年度むつ市一般会計補正予算)	◎
報11	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市税条例の一部を改正する条例)	◎
報12	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	◎
報13	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報14	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報15	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和6年度むつ市一般会計補正予算)	◎

全国市議会議長会 特別表彰・一般表彰

5月22日に開催された全国市議会議長会第100回定期総会において、中村正志議員が議員在職20年以上の特別表彰を、大瀧次男議員が議長4年以上、佐々木隆徳議員が副議長4年以上の一般表彰を受賞いたしましたので、第260回定例会(6月定例会)開会日、6月4日の本会議で表彰状の伝達を行いました。



中村 正志 議員(議員在職20年以上 特別表彰)



大瀧 次男 議員(議長4年以上 一般表彰)



佐々木 隆徳 議員(副議長4年以上 一般表彰)

行政視察報告

総務教育常任委員会

● 兵庫県洲本市

「エネルギーパーク洲本の取組について」

● 兵庫県三木市

「縁結課の取組について」

「移住・定住推進の取組について」

「みきで愛(出会い)サポートセンターの取組について」

エネルギーパーク洲本は、洲本市が再生可能エネルギーの活用を推進するために設立した施設です。太陽光発電、風力発電、バイオディーゼル燃料の精製などを行い、環境教育や見学を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。原子力発電などを加えたむつ下北でも、エネルギーについて地域住民の理解促進のためにも、重要な施設かと思えます。

兵庫県三木市の「縁結び事業」は、結婚を希望する人々を支援する事業で、市民ボランティアが婚活イベントやお見合いをサポートし、成婚まで寄り添います。コロナ禍でコミュニケーションが不足したり、出会いの機会が減少する中で、地域の絆を深める重要な活動です。これまで100組以上が成婚のこのとですが、離婚が一組も無くサポーターの存在が成婚後も役立つと感じます。



『エネルギーパーク洲本』視察時の様子

総務教育常任委員会委員長 野中貴健

産業建設常任委員会

● 愛媛県松山市

「地域電子マネーについて」

● 香川県東かがわ市

「IoTを活用した牡蠣養殖事業について」

愛媛県松山市「地域電子マネーについて」、人口減少社会において外貨獲得、地域内循環活性化等を目的に地域独自の価値を作るため、スマート決済サービス「まちペイ」を(株)まちづくり松山が創業し、運営している。

共通ポイント、電子マネー、電子お買物券の3つの機能が一つになったアプリをスマートフォンにダウンロードするが、ICカードを使用し利用する仕組みであり、地域の中小事業者においても機会を逃さず、キャッシュレス消費の獲得に対応できている。

香川県東かがわ市「IoTを活用した牡蠣養殖事業について」、人口減少等の社会的課題に対し、官民が連携し課題解決を目指している。その取組として、データ連携を活用し、デジタル田園都市国家構想交付金を活用したスマート水産業として「牡蠣養殖」の試験養殖を実施している。

また、官民連携事業においては、多様な主体が公共を担うことが重要であり、相互補完により、住民福祉の向上につながる質の高い公共サービスの提供を目指し取組を進めている。



『IoTを活用した牡蠣養殖事業』視察時の様子

産業建設常任委員会委員長 富岡直哉

市民の声

棚村徳和さん
(大分県出身)



大人が楽しめる イベントもあれば

大湊は2回目の赴任です。最初は豪雪地帯ということもあり不慣れでした。

実際に住んでみたらとても気に入り、今回は異動願いを出して家族と一緒に引っ越ししてきました。

春は最初「雪が降ったら実家に帰る」と言っていたのですが、結局はあきらめているようで、逆に一緒にスキーが趣味に!

週末は夫婦でむつ市の観光名所を巡るドライブや美味しいもので満喫。

できれば四季を通して「大人が楽しめる」イベントがもっとむつ市にも欲しいと思います。

「この先に本当に まちはあるのかな」



荒井陽一さん
(山形県出身)

野辺地駅に降りたとき、この先まだ1時間以上

かかると聞いて、とんでもない所にきたな(笑)、その時、

昭和60年以来、39年むつ市民です。

温泉が好きで、熱いお湯の矢立温泉や美人の湯によく行っています。

道の駅の計画があると聞いているので、SPAを併設して集客してみてもは。働く場所、

遊ぶ場所など、若者の目線で若者に魅力あるまちづくりをして欲しい。

時間的余裕はない、やるなら今です。

自然豊かなむつ市での 生活を満喫しています!

地元には海がなかったため、間近に陸奥湾を眺めることができ感動しました。

漁港と自衛隊基地の距離も近く、新鮮なホタテ等の海の幸を食べる機会も増え、食を通じてむつ市での生活を満喫しています。

夏の気候も過ごしやすい、天候が安定しているので生活しやすい環境ですが、住宅街にカモシカが出没することには驚きました。

まだ下北半島の全てを巡ったことがないので、休日には各地の観光スポットを訪れてみたいです。



大塚真凜さん
(群馬県出身)

◎取材へのご協力ありがとうございました。(広報広聴委員一同)

編集後記

議会と市民をつなぐ取組として、新たに「市民の声」の欄が誕生。第一回目は、大湊海上自衛隊のご協力を頂き、県外出身の隊員の声を掲載させて頂きました。取材の中で、地元との違いや、むつ市の魅力など、貴重な声を頂きました。是非、ご覧ください。(櫻田)

次回の定例会は
8月22日開会予定です